

地域づくり新聞 く東田中南区く

平成 28 年 12 月発行

No.4

東田中南自治会

インタビュー



たがさぼスタッフの説明に耳を傾ける皆さん/ロジマンコミュニティセンター

平成 28 年 11 月 5 日、多賀城市市民活動サポートセンター（以下 たがさぼ）のスタッフがロジマンコミュニティセンターにおじゃまし、西亨区長さんをはじめとする役員さんなど 7 名に自治会活動や地域の状況について、インタビューさせていただきました。

たがさぼは、町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域で活動する団体、個人を応援する施設です。今回伺った自治会活動や地域の状況は、貴重な参考事例として、多賀城の地域づくりに活かして参ります。

おいしい朝食 楽しい交流

サタデーモーニングカフェ

焼きたてのパンとコーヒーが並ぶ住民対象の朝食会で、自宅にこもりがちな高齢者の孤立を防ぐと、平成 20 年から始まりました。初対面でも席が近い人同士の話も弾むので、その後の日常でのあいさつも盛んになっています。



東日本大震災後は、親子連れの参加も増えています

高齢者のやってみたいを応援

エイジジョイ倶楽部

高齢者の孤立を防ぐために、エイジジョイ倶楽部という集まりがあります。健康や生活に関する講座やお茶会を行っています。

12 月には地域のつながりを活かして、志引保育所の子どもたちが歌と踊りを発表して

くれます。お礼に手作りの巾着をプレゼントすることにしよう、11 月に手縫いをしました。

参加者同士「またこんなことがしたいね」「また集まりたいね」という声が拳がり、自分たちで楽しみを生み出していけることを目指しています。

一緒に
考えたい

これからの地域

大人から子どもまで

出番が活きる

防災活動

東田中南自治会では、常日頃から支援が必要な人を把握し、いざというときに駆けつけられるよう登録制で「防災見守りカード」と「見守りマップ」を作成しています。しかし、災害時の安否や取り残された人がいないかを確認するとき、すばやく高層マンション内を確認して回るのは容易ではありません。

そこで確認役を中学生たちにお願ひすることで、大人だけでは対応できない部分をカバーしています。集会所でも、避難した小学生の面倒を中学生がみて、親御さんへの引き渡しを行うといったしくみもつくり、11月の総合防災訓練では実際にやってみました。活動に関わるということは責任ある役回りですが、その人ができることを信じてお願ひすることで、みんなで支え合える関係性をつくりだしています。



東田中南自治会 三浦副会長

要チェック

「無事です」「手助け、お願ひ」と書いた意思表示マグネット。何かあったときに、どちらかを玄関ドアに貼り出すことで、一目で安否の確認ができるよう工夫しています。



この四コママンガは、地区のみなさんから伺ったお話を参考に、たがさぼちゃんスタッフが制作しました。
・たがさぼちゃんは、たがさぼのイメージキャラクターです。



ロジマンコミュニティセンター

みんなのロジマン
コミュニティセンター

東田中南区は多賀城で唯一、マンション入居者で構成されている自治会です。集会所であるロジマンコミュニティセンターの裏には「憩いの森」があり、環境が良いと住民から評判です。

自治会や子ども会、サークル活動など、地区内外の団体に利用され、利用料は集会所の管理・修繕や自治会活動に役立てられています。

多賀城市市民活動サポートセンター
(たがさぼ) ってどんなところ？

町内会・自治会、NPO、ボランティア団体など地域づくりのために活動する人たちの拠点施設です。
市民の力による、地域の「困った」を解決する活動やまちの魅力を高める活動をサポートしています。